

(お知らせ)

定期検査中の福島第二原子力発電所3号機における警報の発生について

平成17年10月21日
東京電力株式会社
福島第二原子力発電所

当所3号機(沸騰水型、定格出力110万キロワット)につきましては、平成16年12月2日より第13回定期検査を実施しておりますが、平成17年10月21日午前9時12分、「RHR(停止時冷却)系^{*1}A配管破断」の警報が発生いたしました。

当該警報が発生した原因は、原子炉再循環系配管の取替え工事に伴い、弁の作動試験のための電気回路の安全処置^{*2}を行った際に、安全処置を行う箇所を誤ってしまったことにより、誤警報が発生したものでした。

なお、電気回路の安全処置を復旧し、警報は解除いたしました。

今後、電気回路の安全処置を誤った原因について、詳細に調査いたします。

これによる外部への放射能の影響はありません。

以上

*1: RHR系

原子炉を停止した後の燃料の崩壊熱の除去(燃料の冷却)や非常時に原子炉水位を維持する系統(A系, B系, C系の3系統ある)。

*2: 安全処置

保全作業の実施に際し、設備の安全などを確保するために行う、弁の開閉や電源を入切り等の処置。

(お問い合わせ先)
福島第二原子力発電所
広報部
TEL 0240-25-1353